

令和7年度

県立広島大学助産学専攻科入学試験

専門科目入学試験問題

(母性看護学・小児看護学)

試験時間 10:00～11:00

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題冊子（20 ページ）には、解答用紙（2 枚）が挟み込んであります。試験開始の合図があつたら、直ちに中を確かめ、印刷や枚数の不備などがあつた場合、監督者に申し出てください。
- 3 問題冊子の間に挟み込んである解答用紙を取り出して、すべての解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
- 4 解答は、すべて解答用紙の所定欄に記入してください。
- 5 試験室で配付された問題冊子は、退出時に持ち帰ってください。

このページは白紙です。

このページは白紙です。

I 次の【問1】～【問6】に答えなさい。

【問1】 次の a～e の中から正しい記述をすべて選びなさい。

- a. 生殖補助医療（ART）とは、人工授精または体外受精もしくは体外受精胚芽移植を用いた医療のことである。
- b. 人工授精は、採取された未受精卵を提供精子により受精することである。
- c. 令和 2 年に「生殖補助医療の提供等及びこれにより出生した子の親子関係に関する民法の特例に関する法律」が成立し、現在、不妊治療をする 43 歳未満の女性に対して保険が適用されている。
- d. 女性が自己以外の女性の卵子（その卵子に由来する胚を含む）を用いた生殖補助医療により子を妊娠・出産したときは、その出産をした女性をその子の母とする。
- e. 妻が夫の同意を得て、夫以外の男性の精子（その精子に由来する胚を含む）を用いた生殖補助医療により妊娠した子について、夫はその子が嫡出であることを否認することができる。

【問2】 次の a～e の中から正しい記述をすべて選びなさい。

- a. 合計特殊出生率は、人口 1000 人あたりにおける 1 年間の出生数で表される。
- b. 妊産婦死亡は、妊娠中または分娩後 42 日未満における女性の死亡であり、1 年間の出産 10 万対で示される。
- c. 死産は、妊娠満 12 週以降の死児の出産をいい、人工死産と自然死産に分けられる。
- d. 周産期死亡とは、妊娠 22 週以降の死産と生後 28 日未満の新生児死亡を合わせたものであり、出産 1000 対で示される。
- e. 乳児死亡とは、生後 6 か月未満の死亡で、母体の健康状態、経済、母親の教育に関する養育下の衛生状態等の社会状況を反映する指標である。

【問3】 次の a～e のの中から正しい組み合わせをすべて選びなさい。

- a. 愛着（アタッチメント）理論 —— ボウルビィ（Bowlby, J.）
- b. 人間対人間の看護 —— ウィーデンバック（Wiedenbach, E.）
- c. 援助を求めるニード —— オレム（Orem, D.）
- d. 危機理論 —— トラベルビー（Travelbee, J.）
- e. 絆（ボンディング）理論 —— クラウス（Klaus, M.H.）

【問4】 女性の年齢とホルモン分泌量（図1）について、a～cを表すホルモンはそれぞれどれか。下記の の中から選び答えなさい。

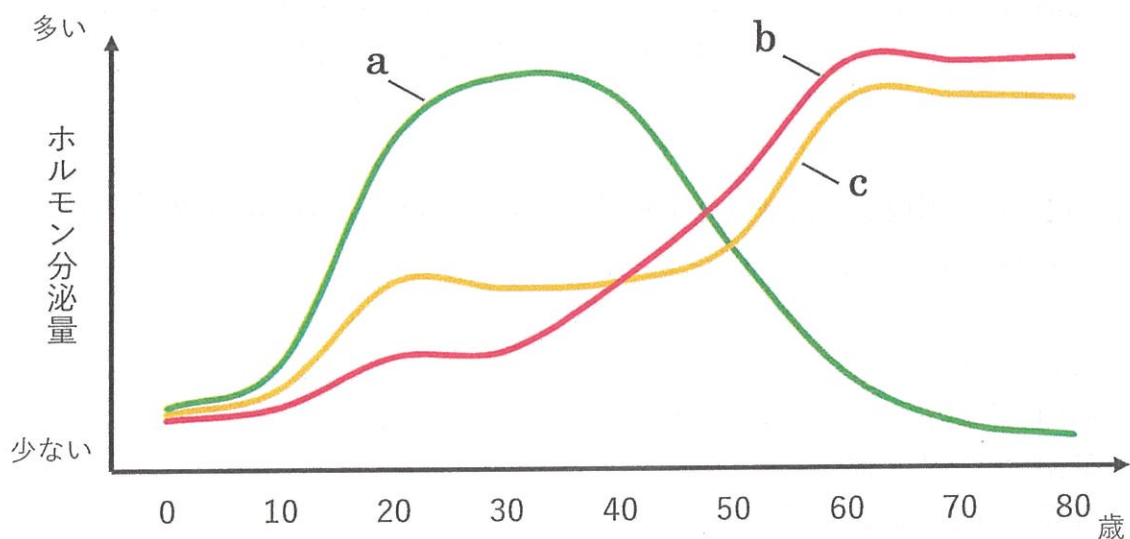


図1 女性の年齢とホルモン分泌量

プロゲステロン	黄体形成ホルモン	アンドロゲン	オキシトシン
プロラクチン	テストステロン	エストロゲン	卵胞刺激ホルモン

【問5】 次の a～e のの中から正しい記述をすべて選びなさい。

- a. わが国におけるプレコンセプションケアとは、成育基本法（略称）に基づく基本方針において、「女性やカップルを対象として将来の妊娠のための健康管理を促す取り組み」とされている。
- b. ヘルスリテラシーとは、健康に関する情報を入手し、理解、評価して、意思決定をする能力である。
- c. 緊急避妊法（emergency contraception : EC）のひとつに、避妊措置に失敗したあるいは避妊措置を講じなかった性交後、60 時間以内に経口投与する方法がある。
- d. 性感染症のひとつである性器ヘルペスウイルス感染症は、コンドームおよびワクチンで予防できる。
- e. 包括的性教育とは、セクシュアリティのカリキュラムを基盤とした教育と学習プロセスのことであり、人間関係、価値観や人権が含まれる。

【問6】 「母子保健法」に基づく市町村の事業について、次の a～e のの中から正しい記述をすべて選びなさい。

- a. 養育医療の給付
- b. 産前産後休業
- c. 低出生体重児の届出
- d. 乳児家庭全戸訪問事業
- e. 1 歳 6 か月および 3 歳児健康診査

- Ⅱ 妊娠 10～16 週の採血による、無侵襲的出生前遺伝学的検査（NIPT）の児の染色体異常の確定診断結果を示す。次の【問 1】、【問 2】に答えなさい。

		児の染色体異常	
		あり	なし
NIPT	陽性	93	18
	陰性	7	5900

【問 1】上記の確定診断結果から、次の（１）～（４）はそれぞれどの数値となるか、該当する数値を下記の の中から選びなさい。

- （１）感 度：ある疾病を持つ者のうち、検査で陽性となった者の割合
- （２）特異度：ある疾病を持たない者のうち、検査で陰性となった者の割合
- （３）陽性反応的中度：検査で陽性となった者のうち、実際に疾病を有していた者の割合
- （４）陰性反応的中度：検査で陰性となった者のうち、実際に疾病が無かった者の割合

0.001	0.003	0.015	0.07	0.162	0.838
0.930	0.980	0.997	0.999	13.3	327

【問 2】上記の説明をふまえ、以下の記述で正しいものに○を、間違っているものに×をつけなさい。

- （１）偽陽性率は、7.01 である。
- （２）偽陰性率は、0.003 である。
- （３）基準値を変えて感度を上げた場合、偽陽性率はあがる。
- （４）基準値を変えて特異度を上げた場合、偽陰性率はあがる。

Ⅲ X 線による骨盤計測について、次の【問1】、【問2】に答えなさい。

【問1】グースマン (Guthmann) 法について、次の(1)～(3)に答えなさい。

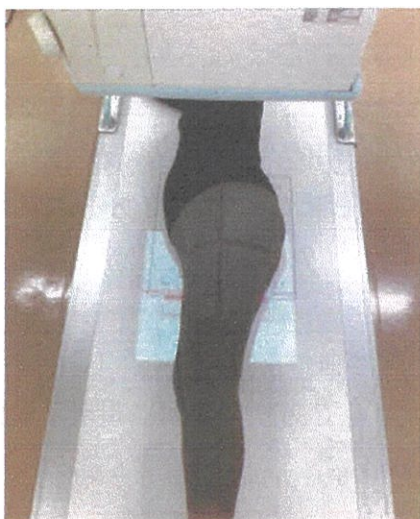
- (1) 撮影体位はどれか。右ページの写真の a～dの中から選びなさい。
- (2) 撮影を行う目的について、右ページ の e～hの中から当てはまるものをすべて選びなさい。
- (3) 撮影した X 線写真を用いて計測できるものを、右ページ の i～oの中からすべて選びなさい。

【問2】マルチウス (Martius) 法について、次の(1)～(3)に答えなさい

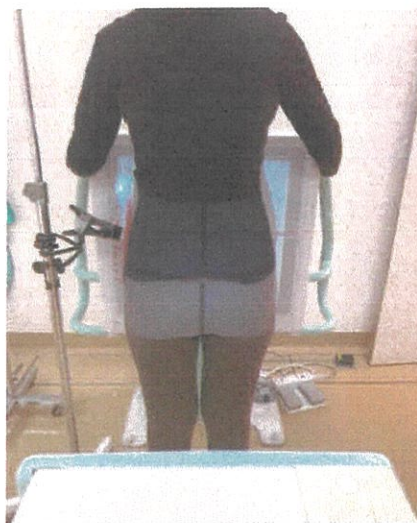
- (1) 撮影体位はどれか。右の写真の a～dの中から選びなさい。
- (2) 撮影を行う目的について、右ページ の e～hの中から当てはまるものをすべて選びなさい。
- (3) 撮影した X 線写真を用いて計測できるものを、右ページ の i～oの中からすべて選びなさい。

写真

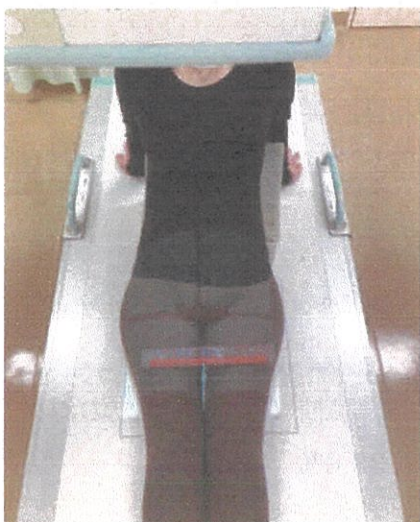
a



b



c



d



e 仙骨の形態を知る

f 児頭の下降度、進入状況を知る

g 骨盤腔の前後の大きさを知る

h 骨盤入口部の形状を知る

i 骨盤開角

j 産科的真結合線

k 骨盤出口前後径

l 棘間径

m 稜間径

n 骨盤入口の最大横径

o 骨盤入口の最大縦径

Ⅳ 事例 A さんの各期の経過 [] を読んで、【問 1】～【問 3】に答えなさい。

【問 1】 妊娠期の経過を示す。次の (1) ～ (5) に答えなさい。

A さん、38 歳、経産婦。身長：159 cm、非妊時体重：49.0 kg。既往歴なし。夫と長女（3 歳）との 3 人暮らしで、職業はデパートの販売員である。妊娠 35 週から他県にある A さんの実家へ里帰りし、里帰り先の病院で出産する予定である。

前回は経膈分娩で出産している。前児は、B 群溶血性レンサ球菌（GBS）感染症と診断を受けた。前回は母乳と人工乳の混合栄養であり、今回は母乳育児を希望している。

～妊娠 26 週～

A さんから「妊娠中の生活で気をつけることはありますか？実は、来週、家族で北海道へ旅行に行こうと思っています」と質問があった。

血圧 118/54mmHg、体重 52.0 kg、尿蛋白（-）、尿糖（-）、両下肢の浮腫（-）、50g グルコースチャレンジテスト血糖値 120 mg/dL（妊娠 10 週の随時血糖値 88 mg/dL）

～妊娠 32 週～

A さんから「最近、よくお腹が張るんです。仕事で立ちっぱなしだからでしょうか」と質問があった。

血圧 124/62 mmHg、体重 56.0 kg、尿蛋白（-）、尿糖（-）、両下肢の浮腫（+）ヘモグロビン値 10.5 g/dL、ヘマトクリット値 33.0%

子宮口閉鎖、子宮頸管長 32 mm。レオポルド触診法で第 1 頭位であった。

超音波検査にて、推定体重 1,970 g、羊水インデックス（amniotic fluid index：AFI）18 cm であった。

(1) 妊娠 26 週時点の A さんへの健康教育で正しいものはどれか。次の a～e の中からすべて選びなさい。

- a. 「旅行のために飛行機に搭乗する場合、医師の診断書が必要です」
- b. 「事業主に仕事内容を軽易なものに変更したいと請求することができます」
- c. 「運動は自覚的運動強度『ややきつい』以下、心拍数 150 回 / 分以下にとどめましょう」
- d. 「水銀濃度が高いので、ツナ缶はなるべく食べないようにしましょう」
- e. 「避妊の必要がないので、性行為でコンドームを使う必要はありません」

(2) 妊娠 32 週時点の A さんの状態にあてはまるのはどれか。次の a～g の中からすべて選びなさい。

- a. 切迫早産
- b. 妊娠貧血
- c. 羊水過少
- d. 妊娠糖尿病
- e. 胎児発育不全
- f. 妊娠高血圧症候群
- g. a～f のどれも当てはまらない

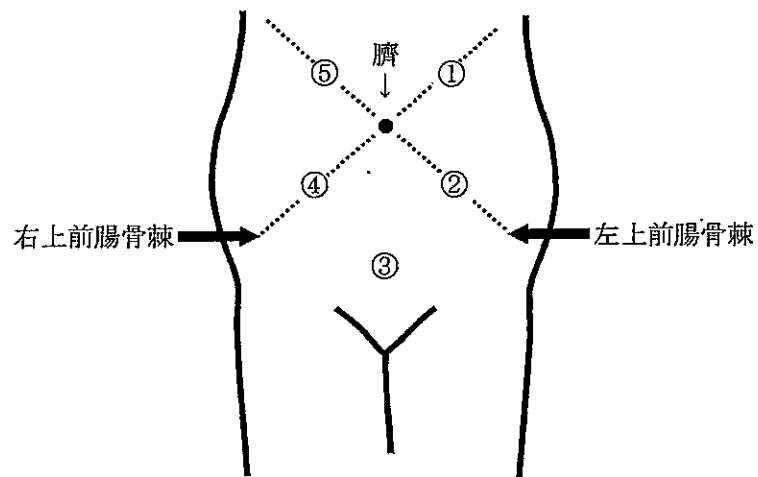
(3) B 群溶血性レンサ球菌 (GBS) 感染症について A さんへの説明で正しいのはどれか。次の a～e の中からすべて選びなさい。

- a. 「妊婦さんの 50% が保菌者です」
- b. 「今回の妊娠中は GBS 感染症を省略できます」
- c. 「赤ちゃんへの感染予防のため、早期母子接触はできません」
- d. 「分娩中にペニシリン点滴静注を行います」
- e. 「上行感染予防のため、毎日膣洗浄をしましょう」

(4) レオポルド触診法について正しいのはどれか。次の a～e の中からすべて選びなさい。

- a. 仰臥位で膝を伸ばした状態で行う。
- b. 第 1 段および第 2 段は妊婦の顔に向かって立ち、第 3 段以降は妊婦の下肢の方を向いて行う。
- c. 第 1 段では児の下降度が観察できる。
- d. 第 2 段では胎位が観察できる。
- e. 第 3 段では、胎児下向部の種類が観察できる。

(5) 妊娠 32 週時点の A さんの胎児心音の最良聴取部位はどこか。次の①～⑤の中から選びなさい。



次のページに続きます。

【問2】分娩期の経過を示す。次の（１）～（３）に答えなさい。

Aさんは妊娠41週4日、19時に陣痛発来し、21時に里帰り先の病院へ入院した。「少しずつ、痛みが強くなっています。水っぽいおりものがお昼頃から増えた気がします」と訴えた。

入院時の内診所見：子宮口 5 cm 開大、展退度 70%、児頭下降度 -2、子宮口の硬さ 軟、子宮口の位置 中 であり、胎胞が触れた。内診時に透明の水様性の膣分泌液がみられ、BTB 試験紙をつけると黄色から青色に変色した。

胎児心拍数モニタリング所見：陣痛周期 5～6 分、陣痛持続時間 40～50 秒、胎児心拍数基線 140 bpm、胎児心拍数基線細変動 10～15 bpm、一過性頻脈 2 回 / 40 分、一過性徐脈 1 回 / 40 分（陣痛発作と同時に 110 bpm まで 15 秒程度で急激に下降し、20 秒後、開始時と同じように急激に回復した）。

その後、Aさんは妊娠41週5日の1時に子宮口が全開大し、1時43分に3,410 g の男児を分娩した。胎盤娩出直後から血塊を伴う出血がみられ、血圧 116 / 62 mmHg、脈拍 92 回 / 分、SpO₂ 98%であった。分娩時出血量は 730 mL であった。会陰裂傷Ⅱ度であり、裂傷部位を止血縫合した。

（１）入院時の助産師の判断で正しいものはどれか。次の a～e の中からすべて選びなさい。

- a. 正期産の時期である。
- b. ビショップスコア 8 点である。
- c. 分娩第 1 期の潜伏期である。
- d. 一過性徐脈は早発一過性徐脈である。
- e. 破水している。

（２）胎盤娩出後のショックインデックス (SI) を計算しなさい。ただし、SI は小数第三位を四捨五入し記載すること。

- (3) 胎児付属物について、(①) ～ (⑧) に正しい語句・数字を から選んで入れなさい。ただし、語句・数字は何度使用しても構わない。
- 胎盤の重量は胎児のおおよそ (①) 分の1である。
 - 臍帯は臍帯動脈 (②) 本、臍帯静脈 (③) 本がワルトン膠質で包まれている。
 - 卵膜は内側(胎児側)から (④)、(⑤)、(⑥) の3つの膜で構成されている。
 - 胎盤剥離徴候のうち、恥骨結合直上の腹壁を手で骨盤内に圧入した際に、膣外に出ている臍帯が戻らないものを (⑦) 徴候という。
 - 胎盤の中央部から剥離が始まり胎盤後血腫を形成し、母体面および卵膜で血腫を包み込むようにしながら胎児面から娩出される様式を (⑧) 様式という。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

キュストネル (Küstner) シュルツェ (Schultze)

アールフェルド (Ahlfeld) ダンカン (Duncan)

シュレーダー (Schröder) ストラスマン (Strassmann)

羊膜 網膜 漿膜 脱落膜 臍帯膜 絨毛膜

【問3】産褥・新生児期の経過を示す。次の（1）～（3）に答えなさい。

Aさんは、産褥1日目から母児同室を開始し、自律授乳を行っている。

～産褥2日目～

Aさんは「おっぱいが張ってきて少し痛いです。乳首も切れているのか痛いんです。赤ちゃんがよく泣くから、まわりの人たちに迷惑なんじゃないかって焦ってしまいます。授乳の後はお腹も痛くて、辛いです。二人目なのに、上手くできなくて自分が情けないです」と暗い表情で流涙しながら話した。エジンバラ産後うつ病自己評価票は7点、赤ちゃんへの気持ち質問票は1点であった。

体温 37.3℃（腋窩温）、血圧 118/50 mmHg、脈拍 62回 / 分、尿蛋白（±）、ヘモグロビン値 11.7 g/dL、ヘマトクリット値 34%、白血球数 9,740、CRP 0.2 mg/dL、両下肢浮腫（+）。子宮底は臍下3横指の高さに硬式テニスボール様に触れた。悪露は赤色で少量であった。会陰裂傷縫合部の疼痛があり円座を使用している。

乳管開口数は左右4～5本、黄白色の乳汁がにじむように分泌している。両乳房全体に緊満が軽度みられるが、硬結はない。両方の乳頭外側に亀裂がみられる。Aさんは、児がよく泣いてから授乳を行っており、児を授乳クッションに寝かせ、体を支えながら授乳している。児は舌を鳴らすような音をたてて吸啜している。

～産褥4日目～

Aさんは「明日、退院する予定なのですが、退院後の生活や仕事復帰のことが心配です」と話した。退院後は、1か月健診まで実家で過ごす予定である。産後6か月での職場復帰を希望している。

（1）産褥2日目のAさんの状態について、アセスメントで正しいものはどれか。次のa～eの中からすべて選びなさい。

- a. 退行性変化は産褥日数に応じている。
- b. 進行性変化は産褥日数に応じている。
- c. マタニティブルーズが疑われる。
- d. ボンディング障害が疑われる。
- e. 産褥熱が疑われる。

(2) 産褥 2 日目の A さんへの母乳育児支援で適切なものはどれか。次の a～e の中からすべて選びなさい。

- a. 乳房が緊満しているので、授乳前に乳輪・乳頭部のマッサージを行う。
- b. 乳首の亀裂に少量の乳汁を絞って塗る。
- c. 疲労が強いので、夜間は新生児室で児を預かり、助産師が授乳をする。
- d. 正しいポジショニングとラッチオンの方法を伝える。
- e. 児の覚醒状態が state 2 から state 4 の状態で授乳するよう伝える。

(3) 産褥 4 日目の A さんへの退院指導で適切なものはどれか。次の a～e の中からすべて選びなさい。

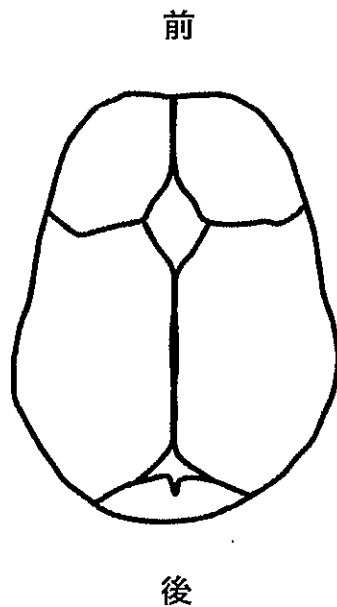
- a. 「産後 2 週間と 1 か月の産婦健康診査の費用が助成されます」
- b. 「1 年ほどで非妊時の体重に戻るようにしましょう」
- c. 「赤ちゃんが 1 歳 6 か月になるまで産後ケア事業を利用できます」
- d. 「出生証明書は里帰り先では提出できません」
- e. 「赤ちゃんが満 1 歳になるまでは、育児時間制度を利用して、仕事中に搾乳をするといいですよ」

Ⅴ 次の【問1】～【問4】に答えなさい。

【問1】乳幼児の成長・発達について、次の文章の（ ）内に適切な数字を書きなさい。

- (1) 体重は、4歳頃に出生時の約（ ）倍となる。
- (2) 出生時の頭囲は胸囲より大きく、（ ）歳以降、胸囲が頭囲を上まわる。
- (3) 乳歯は、2～3歳頃に生えそろう、全部で（ ）本である。
- (4) 生後（ ）か月頃から咀嚼運動ができるようになる。

【問2】乳児の大泉門の大きさを測定する際に、測定する箇所はどこか。測定する箇所すべてに、線（ $\longleftrightarrow$ ）を引き示しなさい。なお、解答は解答用紙の図の中に記入すること。



【問3】次の事例を読んで、下記の（1）に答えなさい。

B君、4歳、男児。地震で被災したため、両親と小学校の体育館に避難した。避難後、2週間経過したところから、B君は積み木を積み上げ、わざと崩したり、机や椅子をガタガタ揺らして「地震だ。逃げろ」と騒いで遊んでいた。B君は母親にべったりと引っ付いて離れず、夜尿が頻回にある。母親は、体育館に巡回に来ていた看護師に子どもへの対応を相談した。

（1）看護師の母親への助言で適切なものはどれか。次のa～eからすべて選びなさい。

- a. 「家のお手伝いをさせましょう」
- b. 「すぐに専門医を受診しましょう」
- c. 「被災地の動画を見せないようにしましょう」
- d. 「不謹慎な遊びだから、やめさせましょう」
- e. 「夜尿や甘えることに対して、叱らないようにしましょう」

【問4】次の事例を読んで、下記の（１）、（２）に答えなさい。

Cちゃん、3歳0か月、女兒。身長：90 cm、体重：10.0 kg。両親と3人暮らし。「階段から落ちて、痛がって泣き止まない」と、両親とともに救急外来を受診した。Cちゃんを診察すると、顔色が悪く、ぐったりしており、口唇や皮膚が乾燥し、背部や腹部にあざがあった。X線検査で、肋骨の骨折を認めた。母親は、「この子はよく動く子で、目を離した隙に階段から落ちたんです」と落ち着かない様子で話した。

医師の判断で、Cちゃんは入院することとなった。両親にCちゃんの入院を伝えると、両親は「早く家に連れて帰りたい」と強く申し出た。

（１）Cちゃんに小児用輸液セットを用いて、静脈内注射を行うことになった。体重1 kg 当たり1日 100 mLの輸液を持続点滴で行う医師の指示が出ている。このときの1分間の滴下数を求めなさい。ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数第一位を四捨五入し記載すること。

（２）看護師の対応で適切なものはどれか。次のa～eからすべて選びなさい。

- a. 両親に児への虐待を疑っていることを伝える。
- b. 児への虐待の可能性があると児童相談所に通告する。
- c. 母子健康手帳で乳幼児健康診査の受診歴と結果を確認する。
- d. 両親の希望通り、早く退院できるように医師に相談する。
- e. 両親に今回の怪我の状況を詳しく教えてくださいと質問する。

